

from the world  
世界の国から

# ボツワナ共和国

Republic of Botswana



デイビッド・レイピーレ氏

ボツワナ輸出振興投資局  
投資促進官

Mr. David Leepile

Investment Promotions Officer

Botswana Export Development & Investment Authority

首都 ハボローネ  
面積 約58万平方キロメートル  
人口 173万人  
政体 共和制  
元首 フェスタス・フォンテバーニエ・モハエ  
大統領  
通貨 プラ  
日本からの主な進出企業  
コマツ



## ダイヤモンド依存産業からの脱却をめざす

### 安定した政治体制と高い経済成長

ボツワナは南部アフリカにある内陸国で、ダイヤモンドの産地として知られています。日本での知名度はあまり高くありませんが、それはボツワナが1966年の独立以来、安定した政治・経済を保ち、内乱や災害などの問題もなく、穏やかに成長してきた証であると考えています。ボツワナには汚職を許さない政治姿勢や他のアフリカ諸国と比べてもずば抜けて高い経済成長など誇れるところが数多くあります。

ところで、日本との貿易を見ると、ボツワナからの輸出品は、99.97%がダイヤモンドという非常に偏ったものになっています。日本からの輸入品は自動車ですが、近年の鉱脈の相次ぐ発見から、今後は鉱山関係の重機の輸入量が増えると予想されます。

### ダイヤモンド依存型産業からの脱却を

ボツワナの経済はダイヤモンドが支

配しているといっても過言ではありません。こういった状況の中、産業の多様化が国として優先課題となっています。具体的には原石供給型の輸出形態からの脱却をはかるため、研磨やカッティングなど加工プロセスの技術導入をめざしています。業界の閉鎖性を考えると時間もかかるでしょうが、国として真剣に取り組んでいく必要があります。

現在、ダイヤモンドに次ぐシェアを持つ輸出品は家畜、特に牛関連製品です。アフリカ諸国やEUに牛皮を輸出していますが、殆ど加工を施さないまま輸出されており、今後はいかに付加価値をつけていくかが課題です。皮革加工産業は立ち上がったばかりで技術不足の点もあり、日本の協力を仰ぎたい分野の一つですし、いずれは日本への輸出も考えています。中国やインドが競合相手になりますが、ボツワナ産品の品質が劣っているとは感じません。

ボツワナには、オカバンゴ国立公園で知られる湿地帯やカラハリ砂漠など観光名所も多く、動物の種類、数も豊富なので観光関連産業へのビジネスチャンスも見逃せません。ホテル建設やインフラ関連への日本企業の投資も期待しています。また、繊維やIT関連セクターへの投資も有望です。



オカバンゴ湿地帯

### 南部アフリカ諸国の中心的立場として

政治の安定と順調な経済成長、そして豊富な地下資源の存在に加え、ボツワナでは金融システムも整備されています。内陸国ですが、周辺諸国へのアクセスも良好で輸送について問題はありません。また昨年、大きな炭鉱が発見されたことにより、火力発電プロジェクトが進行中です。これにより国内への電力供給が安定するばかりでなく、将来的には隣国への供給も可能になります。

ボツワナは高い可能性を秘めた国です。一国で考えると小さなマーケットですが、一人あたりの国民所得が5千ドル強とアフリカ諸国の中では抜群に高く、それに対応する消費も増加傾向にあります。また、南部アフリカ開発共同体（SADC）の中心的な存在であることから、ボツワナへの企業進出は広域的に考えると190億ドルの経済圏へのステップになるでしょう。

写真提供：海外旅行開発株式会社



チョベ国立公園